

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	各務原市福祉の里 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	103名	(回答者数) 85名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者支援。	・毎回の指導の様子を保護者の方に見ていただいたり、参加していただいたりしながら、お子さんの様子を担当職員と共有している。また、保護者の方の不安や、家庭での困り感に対して、一緒に考えたり、具体的に助言している。 ・定期的に保護者向けの勉強会を行い、見通しを持って子育て出来るよう、情報を提供している。	・指導日以外に来ていただける『親子あそびデイ』では、実際お子さんと関わりながら楽しい活動と一緒に参加されることで、発達状況や関わり方のコツなどを実感していただけるように取り組んだ。保護者同士の交流をしていただく時間も毎回設けた。今後も継続し、更に内容を充実させたい。
2	・地域支援。	・お子さんの在籍している園に、年に1回程度訪問させていただいている。園のお子さんの様子を確認し、担任の先生と、お子さんの困り感や支援方法について話し合う機会としている。必要に応じて、再度、園訪問を行う等して、お子さんの発達を支えられるよう連携している。園によっては園の先生にもお越しいただき、支援の様子を見てもらうことができた。	・今後は更にたくさんの園の先生に活動の様子を見ていただいたり、普段から気軽に相談してもらったりして、一緒に考えていけるような、中核機能的な役割を果たしていきたい。
3	・本人支援。	・お子さんの発達段階や特性等に配慮した環境や遊びを提供し、個別活動や親子活動等、固定のグループに囚われず、臨機応変に対応するよう心掛けている。 ・家庭や園、事業所での様子、発達検査の結果や小児科診察での医師の助言等を参考に、総合的にお子さんの姿を判断するようにしている。 ・就学に向けた支援として、発達相談会や新しく『年長さくらグループ』を設定し、就学後どのような支援が必要か、またどのような力が求められるかを一緒に考える機会とした。	・ご利用の際には、お子さんが安心して活動できるような環境を整え、不安が軽減できるような配慮を心掛けたい。引き続き、グループに囚われず、お子さんの状況や保護者の意向に合わせて個別活動や親子活動を取り入れて適切な支援を心掛けたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用時間や回数(5日/月)が固定になっていること。	・利用人数が多い為、固定でないとうまく回転しない。また、支援終了など、先の見通しが持ちにくく、利用日変更など臨機応変に対応することが出来ない。	・固定の時間以外にも、保護者に来ていただいて相談を受けたり、園に訪問したり、他事業所と情報共有したりして連携を図る等、より丁寧な支援を心掛けたい。
2	・利用時間が短い。	・たくさんのお子さんを受け入れるために時間割を組んでいる。そのため、それぞれの利用時間が短くなっている。	・固定の時間以外にも、保護者に来ていただいて相談を受けたり、園に訪問したり、他事業所と情報共有したりして連携を図る等、より丁寧な支援を心掛けたい。また、親子で遊ぶ活動の日を月2回設けて、希望者に参加してもらっている。
3	・不便な場所にある。	・市の中心部から離れており、電車やバスの便も悪い。 ・送迎に使える車の台数が少なく、送迎を担当するための職員配置に余裕がない。	・送迎のバスや車の台数、便を増やせると、利用してもらいやすい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		各務原市福祉の里 児童発達支援事業所		公表日		令和8年3月27日		
		利用児童数		令和7年12月現在		103名		
		回収数		85名		83%		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	84	1			・広々としている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	70	9	2	4	・ぜひいたく人数配置でありがたい。 ・マンツーマンで関わってもらえている。 ・児ひとりにつき、先生もひとりだと良いと思う。 ・保育士さんの負担が心配。 ・担当の先生が休んだ時に、代理の先生のフィードバックの少なさが目立つ。 ・大変そうな印象。 ・電話相談時に職員室に不在解消のため、人数を増やすと良い。 ・さくらに待機している人のために、増やすと良い。	・たくさんのお子さんにご利用いただくために年中、年長さんは職員一人に対して2人の体制で支援させていただいています。 ・代理の職員の対応でご心配をお掛けし申し訳ありません。ぜひお話しさせていただきたいと思ひます。いつもと違う視点の話ができるように学んでいきます。 ・ご相談のお電話に職員が出られないことがあり、申し訳ありません。代表の番号にお掛けいただき、職員が後ほど掛け直しさせていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	82	2		1	・無駄なもの無く、分かりやすい。 ・STの教室環境は良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	82	2		1	・物の数が適切だと思う。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	80	4		1	・通ってから言えない発音と言えるようになっていないが(ほぼ変わっていない気がする)、もうやれることはない、と言われた。	・支援の内容に関しては、保護者の方の意向を踏まえて進めていく必要があります。発音の状況や今後の見直しなど、ご説明が不十分なところがありましたこと、申し訳ありませんでした。(発音の訓練はお子様の年齢や状況によって進め方やどの程度まで取り組むかに違いがあります。)
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	78	6		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	82	2		1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	79	3		3	・こどものかんしゃくなど、大変な時に具体的な助言が頂けると助かります。職員室がご不在のこともあるので、増員されると良いです。	・ご利用中の時間にご不安なお気持ちにさせていただきましたこと、お詫びいたします。担当職員以外でそのようなご相談をお受けできるよう、体制を検討させていただきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	81	4				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	81	3		1	・楽しみながら、友だちとコミュニケーションがとれるようなプログラムがとて良い。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	55	8	4	18	・園訪問の様子をさくらの先生から聞けるのはありがたかった。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	83	1		1	・丁寧に説明して頂けた。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	83	1		1	・細かい所や質問に丁寧に答えてもらえた。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	72	5	1	7	・親子あそびデイを通して、子どもの成長を感じることができる。	・ありがとうございます。大変好評いただいております。親子で楽しい活動にご参加いただくことが、お子様の成長にとても効果があること、職員一同、実感いたしております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	各務原市福祉の里 児童発達支援事業所		公表日		令和8年3月27日			
			利用児童数	令和7年12月現在 103名	回収数	85名 83%		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	83	2			・親が気付かない所も気付いてもらえる。 ・主任の方、担任の方共に、子どものことを理解してもらっていると感じる。 ・通院や日常生活のことに対して、よく聞いて下さる。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	83			2	・すぐに相談できるように声をかけてもらえるため、相談がしやすい。	・保護者の方々より、お子様の様子をたくさん教えていただくことで、私たち職員も大変良い学びになっています。今後、いろいろとお聞かせください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	82	1		2	・とても良いと思う。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	49	16	2	18	・きょうだいの関わり方を教えてもらえる。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	77	2		6	・子どもを理解して、困っている時に適切で具体的な対策を支援してくれる方がさくらにいるので、大変心強いです。職員が増員されると良いと思う。	・ありがとうございます。職員がタイミングよく対応できず、ご迷惑をおかけしてしまうことがあったかと思えます。お困りの時、タイムリーにご相談をお受けできる体制を検討させていただきたいと思えます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	77	3		5	・よく考えて、適切なことばで伝えてくれる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	52	11	1	21	・おたよりの情報は役に立っている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	77	4		4	・十分されている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	66	5		14	・訓練に参加したことがない。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	53	9		23		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	68	4		13		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	69	5		11	・すぐ看護師さんを選んでくださり、助かります。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	79	2		4	・落ち着いて、いろいろなことに参加できていると思う。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	75	6		4	・さくら⇒幼稚園のパターンができて、いつも楽しみにしている。 ・楽しみにしていて、ありがたい。 ・おわた後、幼稚園に行く時に泣いてしまうことが、本人は辛そう。 ・走って行く日もあれば、ぐずぐずしてしまう日もある。	・お子様にとって、さくらが安心できる場所になっていること、とても嬉しく思います。園ではとても頑張っているお子様方や保護者の皆さまがホッとできるような丁寧な支援を心掛けたいと思います。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 各務原市福祉の里 児童発達支援事業所

公表日 令和8年3月27日

利用児童数 令和7年12月現在 103名 回収数 85名 83%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	79	3		3	<ul style="list-style-type: none">相談を聞いてもらうことができ、救われた部分はあるが、具体的な解決に至っていない。満足している。たくさん相談に乗って下さり、感謝している。他の地域では受けられない週1回の訓練を受けられることはありがたい。複数の先生が、子どものことを理解してくれていて、上手く対応して下さい。あと1年でこんな環境がなくなるのはとても心配。将来のことも、よく聞いて退園したいと思う。	<ul style="list-style-type: none">ご相談に対して解決に至らず、不安解消にならなかったとのこと、大変申し訳ありません。お子様への関わりは答えが一つででないことも多いため、保護者の方と職員が一緒に対策を考えさせていただき、少しでもお力になりたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		各務原市児童発達支援事業所				
		公表日 令和8年3月27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		利用人数に対して、配置されている職員数が少ないため、担当の利用児数が多い。それに伴い、事務量が多くなる。事務量の調整をしたり、職員数を増やしたいと要望していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		各務原市児童発達支援事業所				公表日	令和8年3月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		直接支援以外の業務(事務他)が多く、不在の職員の担当を受け持つなどもあり、丁寧な記録ができていないことがある。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		利用されているお子さんがほとんど就園されているため、園との交流はありませんが、グループによっては同じ建物の中にある児童発達支援センターを利用されている医療的ケアの必要なお子さんとの交流を経験しました。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	各務原市児童発達支援事業所		公表日		令和8年3月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		もっと細かい部分まで訓練したり、詳しいマニュアルを知ったりしたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		各務原市児童発達支援事業所				公表日	令和8年3月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			